

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: コレラ 2 例 (感染地域: とともに疑似症)、細菌性赤痢 24 例 (感染地域: 埼玉県 1 例、千葉県 1 例、大阪府 1 例、山口県 1 例、熊本県 1 例、中国 7 例、インドネシア 2 例、カンボジア 2 例、ベトナム 2 例、エジプト 2 例、タイ 1 例、インド 1 例、ミャンマー 1 例、疑似症 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 169 例 (うち有症者 125 例、HUS 4 例) [感染地域: 国内 168 例、英国 1 例 国内の多い感染地: 大阪府 (12 例)、宮崎県 (10 例)、青森県 (9 例)、京都府 (9 例)、長崎県 (9 例) 年齢群: 10 歳未満 (77 例)、10 代 (23 例)、20 代 (26 例)、30 代 (14 例)、40 代 (9 例)、50 代 (6 例)、60 代 (9 例)、70 歳以上 (5 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (80 例)、O157 VT2 (39 例)、O26 VT1 (26 例)、O26 VT1・VT2 (6 例)、O157 VT1 (2 例)、O145 VT2 (2 例)、O103 VT1 (1 例)、O111 VT1・VT2 (1 例)、O121 VT2 (1 例)、O18 VT1・VT2 + O157VT1・VT2 (1 例)、その他/不明 (10 例)]
- 4 類感染症: E 型肝炎 1 例 (感染地域: 長野県、感染源: シカ肉の生食)、つつが虫病 1 例 (感染地域: 長崎県)、日本紅斑熱 1 例 (感染地域: 高知県)、マラリア 1 例 (熱帯熱、感染地域: ガーナ)、ライム病 1 例 (感染地域: 岐阜県)、レジオネラ症 6 例 (全て肺炎型) [年齢群: 40 代 1 例、50 代 2 例、70 代 2 例、80 代 1 例 感染地域: 富山県 2 例、秋田県 1 例、新潟県 1 例、石川県 1 例 (温泉)、和歌山県 1 例]、レプトスピラ症 1 例 (感染地域: 東京都)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 5 例 (すべて腸管アメーバ症) [感染地域: 国内 4 例、中国 1 例 感染経路: 経口 1 例、性的接触 2 例 (異性間 1 例、不明 1 例)、不明 2 例]、ウイルス性肝炎 4 例 (すべて B 型、感染経路: 鋭利なもの刺入 1 例、不明 3 例)、クリプトスポリジウム症 1 例 (感染地域: 国内、感染源: 牛)、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例 (孤発性プリオン病古典型)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (血清群: C 群、80 代)、後天性免疫不全症候群 10 例 (無症候 8 例、AIDS 2 例) [感染地域: すべて国内 感染経路: 性的接触 9 例 (異性間 4 例、同性間 5 例)、不明 1 例]、ジアルジア症 4 例 (感染地域: 国内 2 例、バングラデシュ 1 例、マーシャル諸島 1 例)、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例 (感染地域: 国内)、梅毒 4 例 (早期顕症 I 期 2 例、早期顕症 II 期 1 例、無症候 1 例)、破傷風 3 例 (50 代 1 例、60 代 1 例、70 代 1 例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例 (遺伝子型: 不明、菌検出検体: 尿)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では沖縄県 (0.40)、宮崎県 (0.12)、宮城県 (0.04)、岐阜県 (0.04) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 67 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 79% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 31 週以降、減少が続いているが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では宮崎県 (2.1)、長野県 (1.9)、鳥取県 (1.7)、大分県 (1.7) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県 (1.5)、福島県 (1.2)、山口県 (1.0)、大分県 (1.0) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県 (6.7)、大分県 (6.4)、宮崎県 (5.4) が多い。水痘の定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では宮崎県 (1.3)、愛媛県 (1.1)、和歌山県 (1.0) が多い。手足口病の定点当たり報告数は第 31 週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県 (3.3)、石川県 (3.1)、長野県 (3.0) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では愛知県 (0.81)、宮城県 (0.79)、岐阜県 (0.79) が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では徳島県 (0.05)、福岡県 (0.05) が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では千葉県 (0.03)、岡山県 (0.02) が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 28 週以降、減少が続いている。都道府県別では北海道 (2.1)、青森県 (1.9)、宮城県 (1.4) が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県 (0.02)、埼玉県 (0.01)、大阪府 (0.01)、広島県 (0.01) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第 31 週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県 (4.0)、鹿児島県 (3.3)、長野県 (2.5) が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は 2 週連続して減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府 (1.70)、青森県 (1.00)、群馬県 (0.88) が多い。成人麻しんは 1 例 (広島県) の報告があった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県	.2	.4	.4	4.3	1.1	.5	.4	1.2			.4	.6		2.9				.7				
近畿	香川県	.0	.3	.2	2.3	.8	.2	.1	.8		.2	.8		1.0								
	徳島県		.7	.8	2.5	.8	1.0	.1	.7	.0	.5	1.5		.8								
	高知県	.0	1.2	.4	2.8	.7	1.0	.1	.6		1.1	1.1		.7			.1	.4				
全国	.0	.7	.6	2.6	.6	.9	.3	.9	.0	.0	.7	.0	1.1	.0	1.4	.0	.1	.4	.0	.0	.0	
北海道	.0	.7	.8	1.3	.5	1.1	.2	.8	.0	.0	2.1	.0	1.0	.0	.9	.0	.0	.5				
東北	.0	.4	.7	2.0	.7	.8	.4	1.0	.0	.0	1.1	.0	1.1	.0	.9	.0	.0	.5				
関東	.0	.6	.6	2.1	.6	.8	.4	.8	.0	.0	.5	.0	1.0	.0	2.0	.1	.1	.4				
甲信越北陸	.0	1.0	.6	2.5	.6	2.7	.2	.8			.7	.0	2.1	.0	1.7	.0	.1	.5				
東海	.0	.8	.6	2.7	.8	1.1	.7	.9	.0	.0	.5	.0	1.0	.1	1.1	.1	.1	.2				
近畿	.0	.6	.6	2.5	.6	.8	.3	.8	.0	.0	.5	.0	1.0	.0	.9	.0	.3	.4				
中国四国	.0	.7	.6	3.2	.6	.4	.2	.9	.0	.0	.6	.0	.9	1.3	.0	.0	.3	.0	.0			
九州沖縄	.1	1.0	.6	3.7	.7	.5	.2	1.1	.0	.0	.6	.0	1.3	.0	1.7	.0	.3	.3				

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (8月30日集計)

全国 全数把握感染症 第34週 (2006.8.21 ~ 8.27)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症														五類感染症																							
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症			
第34週報告数	全 国	2	24			169	1							1		1				1						5	4		1	1	1	10	4	1		4	3		1				
	四 国	愛 媛 県		1																																							
		香 川 県																																									
		徳 島 県															1																										
		高 知 県																																									
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		1																										1													
		東 北 道					22																															1					
		関 東 圏		7			41														1					1	2	1			9	2	1										
		甲信越北陸		1			7	1																		3					1											1	
		東 海 道	2	1			16																		1	1												1	1				
近 畿 圏			9			40																					3	1				1						1					
中国四国		2			8											1																											
九州沖縄		3			35									1																						1		1	2				
週 推 移	全 国	34週	2	24		169	1							1		1				1	1		6	1	5	4		1	1	1	10	4	1		4	3				1			
	33週	2	10			158			3							1	1			2			10		12	5	1		1		17	2			4	2							
	32週		12			140	1		1											1				9		7	6				14					5							
	31週	1	7	2	1	145			1						2					1				23		7	2		2	7	1	13	1			5	2						
2006年累積数	全 国	37	282	52	16	2241	46		237	15	15	1	1	175	30	16		3		1	39		4	312	2	474	171	106	11	102	83	786	64	10		387	68		44				
	四 国	愛 媛 県		5	2		13			4					1		3								1	2	3	1		2		6				2							
		香 川 県					11			1		2	1													3	2				1	3				6							
		徳 島 県					16																				3				1					3	1						
		高 知 県		2	1		1			2								1			2					1	1	2				3				21	1						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		2			36	12		12	14				1									2	7		12	4	4	3	4	6	20	1			7	2					
		東 北 道	1	5			212	2		9				99							4				17		16	13	4		5	4	27		1	22	1		4				
		関 東 圏	18	116	32	12	554	15		48		5		1	7	15					20				98	1	223	39	39	6	31	29	413	28	5	121	23		15				
		甲信越北陸	7	18	3	1	136	5		21		1			41	2					4				44		12	14	9	1	14	5	34	7	1	12	6		4				
		東 海 道	4	26	5	2	279	3		30	1	2			4	6					1			2	46		54	24	9		9	14	86	2	1	42	4		8				
近 畿 圏		2	86	7	1	397	2		61		3			2	3	2				1	6			57	1	119	46	14	1	13	17	150	17	1	52	5		7					
中国四国	2	12	3		222	2		33		2	1		10	1	6					3				29		18	17	13		15	6	31	3		49	8		2					
九州沖縄	3	17	2		405	5		23					12	2	8					1				14		20	14	14		11	2	25	6	1	82	19		4					

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.8.30集計)